

No.01-5

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 01 - 5

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		8		作成日		30年 6月 28日				
事務事業名		幽静館維持管理事務						シート作成部署						
総合計画上の位置付け	基本施策	5 賑わうまち						課名	総務課		係名	総務管財係		
		5-2 人が集うまちをつくる						シート作成者						
	施策	5-2-1 観光戦略の展開						予算費目	会計	一般				
									款	2				
主要施策	①観光・交流資源の充実・活用						項		1					
							目	5						
個別計画名														
住民との関わり		住民団体・行政との共催事業・イベント												
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）									
	住民				郷土愛の信念を貫いた政治家である木村家三代の功績にまつわる資料を展示し、維持管理することで、住民の郷土に対する認識を深め、歴史を大切に豊かな人を育む。									
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		幽静館の施設管理及び展示物の管理や町内外へのPR、来館者の受付に関する事務などを行う。												
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 6年度		～		平成 年度		( 年間)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等		幽静館の設置及び管理に関する条例												
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）						
全体事業費（千円）A+B		0			804			1,110						
財源内訳	国庫支出金		0			0			0					
	県支出金		0			0			0					
	地方債		0			0			0					
	その他特定財源		0			0			0					
	一般財源					804			846					
直接事業費（千円）A		0			804			846						
人件費（千円）B		0			0			264						
内訳	一般職員（人・千円）		0.00 人		0		0.00 人		0		0.04 人		264	
	臨時職員（人・千円）		0.00 人		0		0.00 人		0		人		0	
成果指標	成果指標名				単位		29年度		30年度		31年度			
							目標		実績		(目標)		(目標)	
	① 入館者数		人		300		129		300		300			
	②													
③														
説明		平成29年度の入館者数は、129名でした。1件の団体利用がありました。												

事業名	幽静館維持管理事務	シート作成課	総務課
-----	-----------	--------	-----

一次評価者	総務課長	二次評価者	総務部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
<b>必要性</b>	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	展示・保存施設であるという施設の性質上、その内容からモニターや利用者は極めて少ないのが現状です。
<b>有効性</b>	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	施設の規模や展示内容から判断すると、施策への貢献度が著しく高いとは言えません。施設利用・管理のあり方について検討する必要があります。
<b>達成度</b>	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	施策への貢献度が著しく高いとは言えず、目的が達成されていると言い難いが、郷土の生んだ偉人の顕彰方法を考え直す必要があります。
<b>効率性</b>	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	行政が管理を継続すべき施設か検討する余地があります。

本事務事業の実施適切性の説明

開館日を更に効率的に見直し、使用方法の拡充などを検討する。また、他の実施主体に施設管理を委託することや、施設の所有権の移転までも視野に入れ検討すべきであると考えられます。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	3	2	3	(8) B	7 A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
今後の改革・改善目標	地元自治会のご協力により運営されていますが、年間100万円程度の維持管理経費が必要であり、記念館以外の用途や自治会への譲渡も検討します。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	3	2	3	(8) B	7 A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
コメント	施設の運営方法等を検討するとともに、施設の有効活用について検討する必要があると考えます。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	5	その他、参画・協働に関して、制度上、運営上、留意していく		
------------	------	----	------	---	------------------------------	--	--